

---

## レクリエーションゲームを取り入れ、楽しい場づくりを

～高齢者地域リーダー研修会が開催されました～

---

本研修会は、新しく会長になった方や今後活躍が期待される若手リーダー等を対象に、高齢者の現状や老人クラブの役割、運営などについて学び、今後の活動に生かしてもらおうと県老連が毎年開催しています。通常6月頃に開催している本研修会ですが、本年度は中四国ブロック研修（7月）の開催もあって、12月に開催することになり、3日の南部（阿南市）を皮切りに、県内3ブロック（徳島市、三好市、阿南市）で行われた研修会には、82名が参加しました。



研修会はまず、県老連から高齢者の現状や高齢者をめぐる様々な課題（社会保障＜医療や介護等＞や地域における高齢者の孤立などの課題）と、老人クラブが抱える会員の高齢化や若手会員の加入問題、予算の仕組みなどを説明しました。特に会員の減少傾向が続く老人クラブであるが、高齢化が進む地域社会において、閉じこもりや孤立化の防止、次世代育成支援などその果たす役割は多く、欠かせない存在であることを説明しました。あわせて、老人クラブの運営面では、役割分担や地域貢献活動（次世代育成や友愛訪問、奉仕活動など）の推進、サークル活動を積極的に取り入れて欲しいこと等を提案し、活性化に向けての協力をお願いしました。

後半は昨年度に引き続き、徳島県レクリエーション協会の 小西 佳昭 常務理事を迎えて、定例会や集まりの場を和やかなものにする、各種レクリエーションゲームを紹介してもらいました。中でも2人～4人で相手の心を読んで、指を1本か2本同時に出し合い、どちらかに合わせる「指合わせ」や、2人が向かい合わせになり、手のひら（お皿）を差し出し、相手はグー（お団子）をその上に乗せ、逆の手はその反対を行い、これを合図で交互に変える「お団子お皿」などは、道具もいらず簡単にでき、また、4人グループで大判の折り込みチラシを21に無作為に破り、別のグループが破ったチラシを制限時間内に復元する「チラシでジグソーパズル」では、相談しながら頭と手を動かす、懸命に絵をあわせていました。いずれも参加者は童心に帰ってゲームを楽しんでいるようでした。また後半には、新しいニュースポーツ「ラダーゲッター」の紹介もあり、みなさん熱心に挑戦していました。

